

## 施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	県民スポーツの振興	施策コード	V-3-(3)
	政策名	多彩な県民文化・県民総スポーツの振興	主管部局名	教育庁
			担当課室名	教育財務課
施策概要	スポーツは体力の向上やストレスの発散など心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、スポーツに打ち込む競技者のひたむきな姿はスポーツへの関心を高めるとともに県民に夢や感動を与えるなど、活力ある健全な社会の形成にも貢献するものである。 そのため、すべての県民が生涯を通じて主体的かつ日常的にスポーツに親しめるよう環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。			

### 【評価指標】

主な取組		指標		基準値		21年度			22年度	27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値
①	県民スポーツの推進基盤の整備	i	総合型地域スポーツクラブの創設数	16	14	51	26	51.0%	60	75
		ii	公認スポーツ指導者数	16	1,146	1,500	1,549	103.3%	1,530	1,850
②	競技スポーツの振興	iii	国民体育大会総合成績	16	19位	9位	14位	86.8%	13位	10位台
③	スポーツ文化の定着	iv	大分スポーツ公園におけるプロスポーツイベントの平均入場者数	16	19,600	20,000	17,537	87.7%	20,000	21,000
						平均達成率(%)		82.2%		

### 【業績評価】

No.	業 績 評 価		
i	著しく不十分	クラブの創設を促進するため、市町村教委への働きかけや地域住民を対象とした普及啓発シンポジウム等を実施してきたが、各地域において創設に向けた取り組みが始まるまでには、地域住民や既存スポーツ団体等の理解の促進や推進グループの形成等に時間を要するため、当初の目標達成には至らなかった。 H20以降、国体の開催を契機とした県民のスポーツに対する関心の高まりと相まって、市町村教委や関係団体等のクラブ創設を推進する機運が高まっており、クラブ創設数は増加傾向にある。	平均評価
ii	達成	各競技団体に積極的に働きかけをした結果、目標値を達成した。	
iii	達成不十分	第64回新潟国体は本県競技力の真価が問われる大分国体後初の大会であったことから天皇杯順位一桁という高い目標を設定した。結果は14位と目標には一歩及ばなかったものの、2巡目国体以降最も少ない選手団で競技得点を獲得し大分県の底力を十分全国に示すことができた。また、本県競技スポーツの振興に寄与することができた。	
iv	達成不十分	大分トリニータプレシーズンマッチや日本代表戦などのスポーツイベントの開催を通じて、県民に質の高いスポーツに親しむ機会を提供することでスポーツを通じた交流やスポーツ文化の振興を図ることができたが、大分トリニータの成績不振による入場者数の減少により目標達成には至らなかった。	概ね達成